

こんにちは、ふくま健治です

活動報告ニュース
発行日 2011年8月号

こんにちは、市議会議員のふくま健治です。
梅雨も終わり、台風の襲来、カンカン照りの真夏日がつづいています。くれぐれもお体におきをつけください。

市議会一般質問

第2回定例市議会は、7月15日に閉会しました。一般質問の内容を報告します。

原発から徹底し、エネルギー政策の転換を



わが党は、6月10日に九州7県の代表が、九州電力に、原子炉の運転再開中止、再生可能エネルギーへ転換し、原発からの撤退を申し入れをしました。九州電力、四国電力に原発から撤退し、再生可能エネルギーへの転換を要求すること。

企画部長—現在見直しがすすめられている国のエネルギー政策について動向を注視し、必要に応じて全国・九州市長会で要望をおこなっていく。

自然エネルギー本格導入を

町おこしとして、太陽光、小水力、木質バイオマス、風力などの自然エネルギー開発をすすめ、電力自給率高めている先進自治体が広がっています。市としても自然エネルギー自給率を高める対策を強めることが求められています。現状と今後の対策は

環境部長—太陽光発電など自然エネルギー利用促進は喫緊の課題、太陽光発電施設設置への助成制度を新たに創設することなども検討しながら、自然エネルギー利用促進に努める。

原子力発電所災害対応方針の策定を

大分市中心部は伊方原発からわずか70キロメートルしかはなれていません。九州には、玄海、川内の各原

発があります。いったん福島原発のような過酷事故がおきれば、市民の命、安全、暮らしに重大な影響を及ぼしかねません。原子力発電所災害対応方針を策定すること。総務部長—国・県の動向を注視する中で、適切に対応をしていきたい。

放射線量測定の実施を

市民からは「福島の影響がでるのではないか」「伊方原発が近くにあり今後が不安」などの声があがっています。水、農林水産物、また学校プールやグラウンドなど、定期的な放射線量の測定を実施すること。



環境部長—今後不測の事故等に備えて、全市域において、対応できるよう、携帯用放射線測定器によ

る大気の測定の取り組みをすすめてまいりたい。農林水産物などは、市の調査結果や県の大気降下物等の測定結果を踏まえ、放射線量測定の要否について適切に判断する。

——生活相談日誌——

- 目の手術しなければ失明の恐れが—医師から告げられていたKさん（女性）。国保証がなければ、手術もできないと友人と来庁。国保証も交付され、7月上旬に手術は無事終わりました。

暮らし・地域の問題など、ご意見・ご要望をおよせください。

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505（FAX兼用）
携帯090-2714-5617